

授業概要

本講義では、プロスポーツクラブ、スポーツ NPO、スポーツ用品メーカー、フィットネスクラブ、スポーツ小売店などがスポーツを「事業（営利・非営利含む）」として行う活動の総称である「スポーツマネジメント」について講義する。なお本講義では、「事業」としてのスポーツの特性のみならず、事業としてスポーツを取り扱う組織の経営方法や管理方法などもスポーツマネジメントの範疇に含め、講義を行いたい。

授業計画

第1回	スポーツマネジメントとは？
第2回	スポーツマネジメントの基本原理
第3回	スポーツ組織の経営戦略
第4回	スポーツ組織のマーケティング（スポーツマーケティング）
第5回	スポーツ組織論①（モチベーション）
第6回	スポーツ組織論②（組織構造）
第7回	スポーツ組織におけるリーダーシップ
第8回	スポーツ組織におけるキャリア
第9回	スポーツ組織における国際化（国際戦略）
第10回	スポーツ組織における多角化（多角化経営）
第11回	スポーツ組織における企業家精神
第12回	スポーツ組織におけるイノベーション
第13回	プロ野球のマネジメント
第14回	Jリーグのマネジメント
第15回	オリンピックのマネジメント
第16回	期末試験

到達目標

- ・「スポーツマネジメント」とは何か、自分の言葉で説明できるようになること。
- ・スポーツマネジメントの理論を、事例を交えながら説明できるようになること。
- ・スポーツ経営現象を分析するための理論フレームワークを習得すること。

履修上の注意

- ・スポーツに関するニュースだけではなく、経済・経営に関わるニュースにも関心を持つこと。
- ・スポーツマネジメント系大学院の進学希望者、スポーツビジネス系企業への就業希望者は自分で積極的に情報を収集し、行動を起こすこと。そのための相談には応じるので遠慮なく相談に来て欲しい。

予習・復習

予習はテキストの指定された箇所に目を通すようにすること。復習はテキスト、配布資料に目を通すこと。

評価方法

試験 50点 レポート 20点 リアクションペーパー 30点（2点×15回） とする。
60点以上を合格とする。ただし、遅刻（限度を超えた遅刻は欠席扱いとする）、居眠り、私語、スマホいじりは減点する。

テキスト

大野貴司著『スポーツ経営学入門—理論とケース—（増補改訂版）』三恵社